

ひなまつり

2月26日、社協つれもてまつり「復興応援まつり」で、紀宝町の子どもたちを元気づけようと参加した“NPO 災害ボランティアネットワーク鈴鹿”のみなさんによる、子ども着付け体験コーナーが行われました。

きれいに着付けをされた子どもたちは、ひな人形の前で、照れながらも満面の笑みで記念撮影をしていました。

台風12号を経験し
今こそみんなが「丸ごと」で
立ち上がりましょう

元気な紀宝町を 復活させるために！

※この所信表明は、平成24年3月5日開催の、第1回町議会定例会での、平成24年度大綱説明から抜粋しました。



3月定例会で所信表明する西田町長

多くの救援物資が寄せられ、被災家屋の清掃等には数多くのボランティアの皆様にご尽力いただきました。それらの善意に對しまして、心から感謝を申し上げます。

本町では、町民の皆様のご理解とご協力のもと、議員の皆様、建築業者や土木事業者などの各種事業者等と共に力を合わせて、被災された町民の皆様への生活の再建、公共施設や農業施設等の1日も早い復旧に、全力で取り組まさせていただきます。公共施設等の復旧工事につきましては、町民の皆様への住宅復旧工事等と並行して進めさせていただきます。

今後の災害復旧・復興につきましては、本町における最重要課題でありますため、災害復旧・復興事業の総合調整や推進を図り、さらに住民サービスに努めさせていただきます。特別参与を1名増員して任命し、4月から、その任に当たっていただきます。具体的に

防災関係

昨 年10月に三重県において、東日本大震災と同規模であるマグニチュード9・0の地震を想定した最高津波予測高の見直しが行われ、これまで国の中央防災会議において発表されておりました最高津波予測高を大きく上回る、井田で12・46m、井田上野口で12・01m、鶴殿港で10・09m、熊野川で9・25mと、これまでの約2倍となる大きな予測高の見直しがされたところであります。

なお、国の中央防災会議にお

未

曾有の大水害と土石流等となった昨年9月の台風12号災害から、約半年が経過してまいりました。1名の尊い人命を失い、今も1名の方が行方不明となられ、負傷された方も数多く、千世帯あまりが床上浸水以

上の被害を受けました。被災された皆様の心の傷は、いまだに癒されていないものと思われま。改めまして、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

また、多額の義援金や見舞金

いても、本年中には見直しがされるものと予想されております。

このため、本町におきましても、今回の三重県が公表した最高津波予測高や昨年9月に発生した台風12号災害を教訓に、紀宝町地域防災計画全般についての見直しを行ってまいります。

特に津波高が高くなることにより浸水区域も広範囲となりますため、避難場所の見直しが急務であり、台風12号災害においても町内の何か所もの避難所が水没し、避難場所の確保が非常に大切であると痛感をしたところであります。早急に安全な避難場所の確保を図るとともに、高台への避難路の整備に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

平成24年度の取り組みといたしましては、消防関係では、桐原消防車庫の老朽化が激しく、立地的にも相野谷川沿いで危険であることから、建て替えを行ってまいります。

避難関係につきましては、今回の三重県の見直しにより、役場本庁舎が2階まで浸水することが想定され、2階に設置しております防災関係の機器やコンピュータのサーバー等の移設が必要であることから、庁舎に

併設して、庁舎周辺住民の避難場所を兼ね備えた防災拠点施設の整備を行ってまいります。

また、台風12号災害時にも避難に大変苦慮された大里津本地区に避難所を整備いたしますとともに、町内各地区において高台への避難路の整備を進めてまいります。

また、孤立対策や要援護者対策といったしまして、防災資機材の整備や住宅の耐震シェルター事業、住宅の耐震診断・耐震補強工事等の助成につきましては、引き続き実施してまいります。

しかし、ハード面の整備や行政の力だけでは限りがあり、台風12号災害でも多くの地区が孤立しましたように、大規模災害が発生した場合には多くの地区が孤立すると想定され、被害を最小限に食い止めるには、各々の地区において地区住民の相互協力による自助・共助の取り組みが必要であります。さらに、各地区において消防団の充実を図りますとともに、現在町内において34の自主防災組織が設立され、世帯数の78%の参加をいただいておりますが、1日も早く全町的に整備が図れるよう取り組んでまいりますとともに、すでに設立されております自主防

災組織につきましても、なお一層の充実に努めてまいりたいと考えております。

また、医療・救護関係につきましても、台風12号災害を教訓とし、災害時救急医療対策部会において、医師会や医療関係の方々のご協力をいただきながら、救護所の開設方法やスタッフの育成について検討を進めていただきますとともに、救護所の資機材整備や救護所運営マニュアルの整備などにつきましても早急に取り組んでまいります。

今後とも、町と消防団・地域住民が一体となり、自助・共助・公助を基本に、安全・安心な町づくりを進めてまいりますので、ご協力を賜りますようお願いいたします。

熊野川河口大橋

医療、防災、産業、生活環境、地域間交流など、様々な面で地域課題を解決する熊野川河口への架橋につきましまして、必要とされる道路を着実に整備するための道路事業費の確保、さらには、近畿自動車道紀勢線の一部としての早期建設と三重・和歌山

両岸へのランプ設置による生活の利便性の確保を柱とし、「熊野川河口に橋を架ける会」において、これまでも決起大会の開催など、その必要性を強く訴えてまいりました。

すべての幹線道路が通行止めとなった台風12号災害の際には、特に、その必要性を再認識したところであります。

国会におきましてもこの問題が審議され、昨年9月16日の参議院本会議において野田総理は、「近畿自動車道紀勢線の整備を始めとする基幹道路ネットワークの強化に取り組む」と発言されております。

熊野川河口への大橋の建設は地域住民の悲願であり、これらの地域課題を解決するとともに、住民生活を向上させ、三重・和歌山両県の交流を促進するものとして、地域が真に必要なとする道路整備が、これ以上遅れることがあってはなりません。

平成24年度におきましても、引き続き地元気運の醸成や効果的な要望活動を計画・実施し、熊野川河口への架橋の早期実現に向け、積極的な取り組みを行ってまいりますので、議員の皆様のご協力をお願いいたします。

台風 12 号

平成23年9月初旬、紀伊半島を襲い、猛烈な雨を降らせた台風12号。その雨量は想像を絶し、紀宝町にも甚大な被害をもたらしました。



写真提供：新宮市

ボランティア

台風12号の被害を受け、紀宝町災害ボランティアセンターには、全国各地からたくさんの方が、紀宝町の復興のために駆けつけてくれました。



水道事業

水道事業につきましては、より上質で安全、安心な水道水を町民の皆様へ供給させていただくことを目的に、事業を行っております。

しかしながら、昨年の台風12号災害では、北桧杖にあります取水場が水没するという被害を受け、全給水区域において断水となり、多大なご不便とご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

今回、断水となった原因につきましては、ご承知のとおり、熊野川・浪竹川(なみけがわ)の氾濫や、取水場西側の法面崩落により、取水ポンプ室や電気計装設備が浸水したことによるものであります。このため、平成24年度におきまして、北越紀州製紙株式会社様のご協力を得ながら、取水場の安全対策の向上を図ってまいります。さらに、各地区で被害にあった送配水管につきましても、本復旧に向けて進めてまいります。

また、台風12号災害での全給水区域の断水時には、県内各市町を始め多くの団体の皆様へ、給水車による給水活動にご尽力いただきました。

今後、町内において、発生が予想される震災や風水害などの自然災害や、緊急断水時に迅速に対処するため、また、全国各地で発生が懸念される様々な災害に対して素早く人員を派遣し、援助活動を行うことなどを目的に、給水車を購入いたしましたと考えております。

子育て支援対策

子育て支援対策につきましては、「安心して子どもを産み育てることができる環境づくり」の実現を目指して、引き続き推進してまいります。

平成23年度から設立に向け取り組みを開始した「ファミリー・サポート・センター」につきましては、提供会員の充実を図りながら依頼会員が安心して子どもを預けられ、子育てと仕事の両立ができるよう、地域で支え合う体制づくりを構築してまいります。

子育て支援センターにつきましては、平成23年度に改修を行いました相談室において、授乳や相談業務だけではなく、保護者が自由に集い、子育て全般について語り合うことができる場として利用していただければと考えております。併せて、自主

活動グループの育成に努め、地域ぐるみの子育て支援を推進してまいります。

学童保育、遊び場開放、児童デイサービスなどの事業につきましても、利用者や保護者の声を真摯に受け止めながら、さらなる充実に努めてまいります。また、子どもを持つご家庭の経済的負担の軽減を図るため、保育料の減免や小学生までの医療費の無料化につきまして、継続してまいりたいと考えております。

高齢者福祉施策

高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも元気に安心して暮らせる町づくりを目指し、地域全体での「見守り」体制を構築してまいります。

平成23年度から「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用しスタートさせた、「高齢者等地域見守り隊構築事業」を継続実施し、消費者被害による相談対応や情報の提供、啓発活動などにつきまして、地域資源を活用しながら効果的な見守り体制づくりを進めてまいります。

包括的支援事業につきましては、認知症の方とその家族が地域で安心して暮らせるための支援

おりますなかで、災害に強い道路を整備していくことが地域防災の向上につながり、規格の高い道路が整備されることにより、道路を活用する皆様の安全・安心の向上にもつながります。私たちには、自分たちだけでなく次世代のためにも、この地域の安全・安心を向上させていく責任があり、その努力を推し進めていかなければなりません。

今後も国土交通省と連携しながら、紀宝バイパスの早期完成が図られるよう努めてまいりますので、皆様方のご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

建設工事

産業建設課所管の平成24年度台風12号災害復旧工事を最優先に進めていくことを考えております。平成23年度と比較して予算は縮小しておりますが、これまで安全・安心で快適に暮らせる町づくりを基本目標として進めてまいりました「道整備交付金事業」につきましては、平成23年度からの継続事業を基本に、町道整備として、町道井内阪松原線をはじめとする7路線に1億3100万円。「社会資本整備

総合交付金事業」につきましても、鶴殿地区の波静橋架け替え工事や桐原地区の里前橋耐震補強工事、橋梁長寿命化修繕計画策定に1億2700万円の予算を計上して実施してまいります。台風12号災害により被災した農業用施設の復旧工事につきましては、概ね発注を終えており、今後も機能の正常化に向けて鋭意工事を進めてまいります。

また、農地災害における水田の埋塞土砂撤去工事につきましては、地区同意のまとまったか所から順次発注しており、概ね3月半ばまでに発注を終える見込みであります。農地災害につきましては、台風12号により多大な被害を受けた農業者の状況を考慮し、今後も農業者が持続的に農業経営に取り組んでいただくことができるよう、町も独自に農家の負担軽減に努めてまいりたいと考えておりますので、皆様のご理解を賜りますようお願いいたします。

林道施設災害につきましては、町道などと同じく多大な被害を受け、未だ通行できないか所が多くありますが、まず、林道北桧杖浅里線の災害復旧工事から着手し、順次、他の林道災害復旧工事を実施してまいりたいと考えております。しかしな

や、高齢者のワンストップ総合相談窓口のさらなる充実、一人暮らし高齢者等の実態把握と訪問活動の推進に努めてまいります。また、平成24年度からは、介護認定4または5の方を対象に支給しております介護手当とは別に、介護用品の支給を実施してまいりたいと考えております。

介護予防につきましては、音楽と運動を取り入れた「きぼうまちかどエクササイズ」や「貯筋運動」、「料理教室」、「歯周病検診」など、運動機能向上・栄養改善・口腔機能向上の3つの柱を中心に、介護予防が気軽に誰でも楽しみながら参加できる場づくりを積極的に行ってまいります。

紀宝バイパス事業

紀宝バイパス事業につきましては、地域の皆様方のご理解・ご協力を賜っておりますこと、深くお礼を申し上げます。

さて、平成23年度におきましては、成川上土地地区の一部から下地地区・飯盛地区の区間にある紀宝バイパス本線、及び近接する側道等の工事や飯盛川の改修が実施されておりましたが、台風12号の来襲時に、工事区間

がら、林道桐原浅里線において、一部橋梁の新設による復旧を実施しなければならぬか所もあり、林道全線の復旧については多少の期間を要しますが、林業経営になるべく負担をかけないよう災害復旧工事を進めてまいりたいと考えております。

台風12号による被害により、多くの水稻農家の皆様にご心配をおかけしております「J A三重南紀ライスセンター」の復旧については、三重県、町、J A三重南紀などの関連機関が協議を重ねまして、本年産米の乾燥調製に間に合うよう、努めてまいります。

当初はJ A三重南紀から、これまでどおりJ A三重南紀が主体となつての復旧運営は困難との報告を受け、町が事業主体となって実施していくことを検討しておりましたが、本年1月に入り、国・三重県から、J A三重南紀がこれまでの運営のノウハウ等を活かし、事業主体となつて取り組んでくことができる補助事業が示されました。

町といたしましては、設置場所の選定などに協力してまいりますとともに、農家負担軽減のための支援等を考えておりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。



台風12号による被害

台風12号の影響により、紀宝町内は甚大な被害を受けました。上空から山間部を見ると、いくつもの土砂崩れの形跡が確認できました。



紀宝トンネル

平成23年2月20日には、紀宝トンネルが貫通しました。延長約680 m。写真は、トンネルの貫通を記念して行われた「現場見学会」の様子。



まちかどエクササイズ

介護予防事業のひとつとして、認知症予防のための運動教室「きぼうまちかどエクササイズ」を毎月3回開催しています。



子育て支援センター

子育て支援センターでは、選任保育士2名を配置し、子育てについて相談できるほか、保護者同士が自由に話し合える場を提供しています。

町の健康づくりにかかる
予算措置にあたりまして

体の健康、心の健康、栄養問題、運動機能の向上などの専門的指導体制を整備するほか、福祉・教育機関等との連携を図りながら施策を推進してまいりたいと考えております。

また、特定健診、がん検診の同時実施や、医療機関、健康づくり推進員などと連携しながら、住民の皆様が受診しやすい環境を整え、受診率の向上を図ってまいりたいと考えております。

昨年12月20日と21日に国の災害査定があり、相野谷小学校校舎及び屋内運動場、矢渕中学校校舎及びテニスコート場の裏山崩落の復旧工事は、工期上、平成24年度に繰り越して工事を行ってまいりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

学校施設面におきましては、成川小学校の木造校舎改築が平成24年度中に完成の予定であり、完成すれば町内の小学校は全て耐震化がなされることになります。

一方、平成23年度に策定いたしました「社会教育振興ビジョン」に基づき、町民の方々の健康、生きがい、豊かな教

子宮頸がん等ワクチン接種事業についてですが、疾病の重篤性が高い対象疾病として「子宮頸がん予防ワクチン」、「ヒブワクチン」、「小児用肺炎球菌ワクチン」につきましては、引き続き、平成24年度も実施してまいりたいと考えております。

さらに、母子保健法での各種乳児健診のほか、歯科健診の実施や赤ちゃん訪問などにより、体の健康や栄養指導、口腔指導など幅広い健診と相談体制、指導を行ってまいりたいと考えております。

近年の社会環境の大きな変化のなかで、健康問題や経済問題などさまざまな影響により、心の病気を起こしてうつ病や自殺に進んでいくケースが多く、現

スポーツ関係についてであります。台風12号災害で甚大な被害を受けた紀伊半島の子どもたちを励ます目的で誘致された「第22回世界少年野球大会三重 奈良・和歌山大会」が本年7月に開催されることになり、紀宝町も参加すべく、関係者とも連携をとりながら、

準備を進めているところであり
ます。

定 住対策は本町において
重要な政策として位置

づけ、特に若年層の定住促進を図る施策により、若い世代の皆様が、安心して子どもを産み、育てられる地域づくりを実現するため、子育て支援体制や住環境の整備を行うことにより、暮らしやすい生活環境の充実を図ってまいりたいと考え、住宅用地の整備を行い、若年層の皆様への分譲地として、提供してまいりたいと考えております。

平成23年度において計画しておりましたが、台風12号災

また心の問題といたしましては、高齢者の心の活性化・生き

がいづくりが重要課題となっており、特に台風12号で被災された方々への心のケアを重点課題として、推進してまいります。

次に、相野谷診療所及び紀南病院附属浅里診療所についてありますが、先の台風12号により大きな被害を受け、現在復旧工事を行っておりまして、4月から診療業務が行える予定で進めております。

両施設が所在する地域につきましては、特に台風被害の大き

整備予定地につきましては、
(旧) 井田保育所跡地を候補地
として考えております。

今後、町有地や空き地を有効に活用し、住宅地の確保による定住促進を図ってまいります。

東 日本大震災により日本の
国内経済活動は深刻な打

撃を受け、マイナス成長が半年間続くなど、平成23年度は厳しい状況からのスタートとなりました。

その後、官民の総力を結集した復旧・復興努力を通じて、製造した商品が消費者に届くまでの一連の工程である、サプライチェーンの急速な立て直しが図られ、景気は持ち直しに転じましたが、夏以降は急速な円高の進行や、ヨーロッパでの政府債務危機の顕在化による世界経済の減速が、景気の持ち直しを緩やかなものにしております。

政府は昨年12月24日、「日本の基本戦略」の危機の克服と再生の基本戦略「危機の克服と再生の基本戦略」を閣下決定し、平成24年度予算にお

今後は、行政機関と連携をと
 りながら、より地域ニーズを把
 握しつつ、診察及び訪問看護な
 どの機能を充実させ、これまで
 以上にご利用いただける診療所
 として、運営を行ってまいりた
 いと考えております。

また、生活習慣病やがん検診など少しでも身近で検診、アフターフォローができるよう、健康づくり推進課と連携を取りながら、地域医療の推進を図ってまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

育課程についてであり
ますが、台風12号災害に

つきましては、成川小学校、相野谷小学校、矢渕中学校が、浸水や裏山崩落等の甚大な被害を受けましたが、学校職員、保護者、地域住民、ボランティアなど多くの方々にご協力をいただき、いち早く後片付け等が

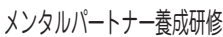
いては、東日本大震災からの復興、経済のフロンティアの開拓、分厚い中間層の復活、農林漁業の再生、エネルギー・環境政策の再設計の5つの重点分野を中心に、日本再生に全力で取り組むとしており、平成24年度一般会計予算の規模は、90兆3,339億円で前年度比マイナス2兆777億円、2・2%の減となっておりま。

本町におきましては、国の予算や関連法案の成立が不透明な時期のもとで、国の動向に注意を払い、情報の収集を行いながら、予算の編成に取り組んでまいりました。

平成24年度は、台風12号災害復旧事業を最優先にしていまいりますが、その他の歳出においては、重要度や緊急度が特に高いもの、地域からのご要望に応える必要があるものなどを選択するなど、可能な限り支出の削減に努め、町債につきましては、地方交付税措置の厚い地方債を優先的に充当して、将来への負担軽減を図るなど、今後の町財政への影響を見据えた編成を行ったところでございます。

※予算については、次回発行の広報きほう5月号で紹介させていただきます。

町では、乳児健診をはじめ、歯科健診や赤ちゃん訪問など、体の健康や栄養指導、口腔指導など幅広い健診と相談体制を整えています。



自殺予防について正しい知識を普及させ、地域の絆を強めて自殺を減らす目的に「メンタルパートナー養成研修」を随時開催しています。



甚大な被害を受けた成川小学校、相野谷小学校、矢渕中学校は、保護者や地域住民、ボランティアなど多くの皆様のおかげで、いち早く後片付けが済みました。



町では、社会教育の推進、充実を図ることを目的に、「紀宝町社会教育振興ビジョン」を策定し、健康で教養豊かな町を目指しています。



< 救急医療情報キットに入れるものは？ >

① 救急情報用紙

- ・緊急連絡先
- ・かかりつけ医
- ・緊急時の対応方法
- などを記載

② 写真

本人が確認できるもの



③ 健康保険証 (写)

④ 診察券 (写)

⑤ 薬剤情報提供書 (写) お薬手帳 (写)



“その時” 誰かがいるとは限りません。
あなたに代わって、大切な命の情報を伝えます。

救急医療情報キット

救急医療情報キットとは？

高齢者や障がい者などの安全・安心を確保することを目的に、名前や生年月日をはじめ、「かかりつけ医」「薬剤情報提供書 (写)」「持病」などの医療情報や、「診察券 (写)」「健康保険証 (写)」などの情報を専用の容器に入れ、自宅に保管しておくことで、必要な情報が迅速かつ的確に救急隊員や病院関係者に伝えられ、救命処置に役立てられるように備えるものです。



救急医療の現場では、秒単位の差が生死を分けることも少なくありません。
紀宝町でも高齢化は年々進行しており、中でも一人暮らしの高齢者や認知症高齢者が増加しているため、緊急時の対応に不安を抱えている高齢者が多くみられます。
緊急時に、患者さんの生存率を高めるためには、既往症や服用薬などの情報を医療現場に正確に早く伝えることがポイントになります。

そこで町では、65歳以上の一人暮らしの方を対象に「救急医療情報キット」を無償配布し、利用支援を開始します。
町のいたるところで、昨年の台風12号災害の爪痕が残っており、水害に対する不安はぬくえませんが、一方で、水害を機に地域のみんなで声をかけ合い、助け合いの意識が高まり、自主的な地区活動も始まっています。このキットは、災害時の避難誘導や医療にも必ず役立つ情報となるため、平時の見守り活動にも役立ててもらいたいとも考えています。
もしもの時に備えて、この機会にぜひ準備していただきたいと思います。

無償配布セット内容

- ◆ 救急情報用紙 1枚
- ◆ 救急医療マークシール 2枚
- ◆ プラスチック容器
- ◆ 取扱説明書

救急医療情報キット セッティングの手順

- ① 容器の中に入れる上記のものを用意する。
- ② 用意したものを容器に入れ、冷蔵庫の目立つ場所保管する。



③ 救急医療マークシールを、冷蔵庫の扉と玄関ドアの内側にそれぞれ貼る

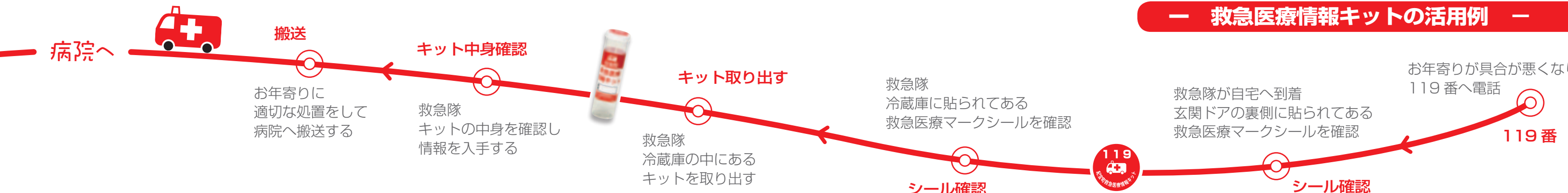


配布方法

- ◆ 対象者
一人暮らしの65歳以上の方。(今後はこの他、高齢者のみの世帯や障がい者等、援護が必要な人も対象とする。住民票の有無は問わない。)
- ◆ 申し込みおよび配布
紀宝町地域包括支援センター(役場本庁舎)と移動支所で、対象者と確認できれば、その場で救急キットを配布します。
- ◆ 備考
・救急情報用紙を1人で記入することが困難な方は、地域包括支援センター職員や民生委員が訪問してお手伝いします。地域包括支援センターや地区担当民生委員までご連絡ください。
・希望される方には、写真撮影や、保険証・診察券等の写しのサービスを行います。介護認定を受けられて、担当ケアマネジャーがおられる方は、ケアマネジャーが支援します。
・受け取りに来られない方には、後日ご自宅に訪問させていただきます。

▼詳しくは、紀宝町地域包括支援センター ☎ 33-0175 までお問い合わせください。

— 救急医療情報キットの活用例 —



4 2号紀宝トンネル整備工事説明会を実施

国土交通省主催の平成23年度42号紀宝トンネル整備工事（施工場所：成川地区）説明会が2月16日、中村多目的集会施設において開催されました。

この説明会では、同省から本工事で予定している紀宝トンネル内の覆工コンクリート・防水工事の進め方や供用開始後の成川インターにおける通行方法など、警察と協議している最新内容について説明が行われました。

同省では、トンネル内の見学を希望される地区に対して、受け入れを行っています。一定の人数を取りまとめていただき、役場産業建設課までお申し込みください。



説明会の様子

▶本工事に詳しくは、国土交通省紀勢国道事務所東紀州事務所（☎0597-25-0688）もしくは、役場産業建設課（☎33-0336）までお問い合わせください。

工事期間は、町民皆さまに大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力の程よろしくお願いします。

紀宝町消防団が防災功労章を受賞！

紀宝町消防団は「防災功労者消防庁長官表彰」を受章し、2月20日、東京の日本消防協会「ニッショーホール」で表彰式が行われました。

これは、自然災害、大規模災害等の活動にて顕著な功績が認められる消防団等に対して贈られるもので、今年度は全国で8団体が受章しました。

紀宝町消防団は台風12号で延べ895人が出動。降り続く豪雨の中、昼夜にわたり水防活動を行うとともに、住民の避難誘導、人命救助活動などを行い、被害軽減に多大な貢献をしました。また、給水活動や避難所運営など、復旧活動にも尽力し、その果たした役割が高く評価されました。



01. 久保消防庁長官から表彰を受ける向井団長。02. 今年度は全国8団体が表彰された。



山根さん、逢野さんに消防庁長官表彰

平成23年度消防庁長官表彰の伝達式が3月8日、町役場で行われ、「永年勤続功労章」を受章された第4分団長の山根忠男さんと第2分団部長の逢野統一さんに、西田町長から章記と勲章が手渡されました。

山根さんは昭和52年11月の入団以来34年間、逢野さんは昭和51年12月の入団以来35年間という長きにわたり職務に精励され、施設点検や団員の教育指導など、その勤務成績が優秀でかつ他の模範であることが評価されました。



町長から伝達を受ける逢野さん（右）と山根さん

台風12号による被災に関する支援

被災者生活再建支援金の申請について

【対象：全壊・大規模半壊・解体（大規模半壊・半壊）】

台風12号災害による住宅の被害程度が「全壊・大規模半壊・解体（大規模半壊・半壊）」の世帯を対象とした「被災者生活再建支援金【国の制度】」については、表①のとおり、基礎支援金（住宅の被害程度に応じて支給）と加算支援金（住宅の再建方法に応じて支給）が支給されることを再々周知しておりますが、ご注意いただきたい以下の2点について、あらためてお知らせいたします。

表① 対象・支給金額

【A】基礎支援金 （申請期限：平成24年10月1日）		【B】加算支援金 （申請期限：平成26年10月1日）	
被害の程度	支援額	再建方法	支援額
全壊	100万円	建設・購入	200万円
大規模半壊	50万円	補修	100万円
解体（大規模半壊・半壊）	100万円	賃借	50万円

※単身で居住していた場合は、それぞれ3/4の額の支給となります。
※単身世帯の方が支給を受ける前（申請後の場合も含みます）に亡くなった場合は、支給を受けることができません（支援金は相続の対象とはなりません）。

★注意事項

①【A】基礎支援金「解体（大規模半壊・半壊）」について

居住していた住宅が「大規模半壊」または「半壊」の罹災証明書を受け、住宅をそのままにしておくと危険であったり、修理するにはあまりにも高い経費がかかるため、やむを得ず解体した場合に限り、全壊の支給額と同じ100万円までの申請ができ、国の審査が受けられます。申請期限は平成24年10月1日までです。ご注意ください。

②【B】加算支援金について

【A】基礎支援金とは別に【B】加算支援金の申請をすることができます。平成24年3月1日現在、【B】加算支援金の未申請世帯は128件となっています。申請期限は平成26年10月1日までとなっておりますが、例えば、民間住宅に入居し家賃を負担しているため、まず「賃借」により50万円を申請し、のちに建設・購入（または補修）した場合は、その差額分150万円（補修の場合は50万円）を申請することもできます。ご利用ください。

▶詳しくは、役場総務課（☎33-0333）までお問い合わせください。

相野谷診療所が復旧しました！

台風12号被害で、仮使用していた仮設の診療所は、相野谷診療所の復旧に伴い、3月30日をもって閉所しました。4月2日からは、相野谷診療所での診療業務を再開しますので、お間違えのないようお気をつけください。

◆診療科目 内科

診療時間／曜日	月	火	水	木	金
午前9時～正午	○	○	○	○	○
午後4時～5時	○		○		

▶詳しくは、相野谷診療所（☎34-0011）まで。



相野谷診療所

乳がん・子宮頸がん検診の検診費用を一部助成します

現在日本では、2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで死亡しています。がんを早期に発見し、早期に治療に結びつけることがとても大切です。そこで町では、乳がんと子宮頸がんの個別検診に対し、下記のとおりその費用を一部助成します。この機会にぜひ受診してください。

◆対象者・受診可能医療機関・自己負担額など

がん検診の種類	地域	受診可能医療機関	電話番号	対象者	自己負担金
乳がん検診	三重	紀南病院 (土曜日不可)	05979－2－1333 地域連携室まで	40歳以上の 紀宝町の住民の方	2,500円
	和歌山	要外科・内科医院 (土曜日不可)	0735－22－5191		
子宮頸がん	三重	紀南病院 (土曜日不可)	05979－2－1333 地域連携室まで	20歳以上の 紀宝町の住民の方	2,000円
		大石産婦人科医院	0597－89－1717		
		和田産婦人科医院	0597－85－3668		
	和歌山	矢島産婦人科医院 (土曜日不可)	0735－22－2337		
		いずみウィメンズ クリニック	0735－21－0311		

※予約の際、医療機関へ「紀宝町のがん検診希望です」とお伝えください。
※要外科・内科医院を受診される方は、受診に依頼書が必要なため、保健センターまでご連絡ください。
※町が実施する各がん検診は、個別検診と集団検診を含めて、年度内1人1回とさせていただきます。

◆持参物品

受診時には、紀宝町の住民であることを証明できるもの（保険証、運転免許証など）をご持参ください。

◆助成対象期間

三重県 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで
和歌山県 平成24年5月1日から平成25年3月31日まで
▶詳しくは、保健センター（☎32－3700）までお問い合わせください。

胃・前立腺・乳・子宮頸がん検診を実施します

【検診日】 4月17日（火） 【検診場所】 紀宝町役場
【申込期間】 4月2日（月）から4月6日（金）まで

検 診 内 容	受付時間	定員	料金
胃がん ※前夜9時以降何も飲食しないでください。	午前7時30分～9時	55人	40歳～69歳…500円 40歳未満…1,400円
前立腺がん ※採血による検査です。	午前7時30分～9時	55人	40歳～69歳…500円 40歳未満も同額
乳がん（マンモグラフィ検査） ※バスタオルを持参してください。	午前9時～11時30分 午後1時30分～3時	午前・午後 各40人	40歳～69歳…1,500円 40歳未満も同額
子宮頸がん ※子宮入り口部分にできる『子宮頸がん』を 採取器具で細胞をこすり取って調べます。	午後1時30分～3時	55人	20歳～69歳…500円 20歳未満…1,000円

※70歳以上は全ての検診が無料です。
※ 予約が必要です。定員になり次第締め切らせていただきます。
※ 町が行う各がん検診の受診回数は、1人あたり年1回とさせていただきます。
※ 胃がん検診：胃に病気がある方、過去に胃の手術をされた方は医療機関にてご相談ください。

【健康相談】 午前9時～11時30分、午後1時30分～3時に健康相談（血圧測定）を実施します。

▶お申し込みなど詳しくは、保健センター（☎32－3700）までお問い合わせください。

がん検診（子宮頸がん・乳がん・大腸がん）無料クーポン券を配布します

町では、平成24年度も特定の年齢の方を対象に、子宮頸がん・乳がん・大腸がんのがん検診を無料で受けることができる無料クーポン券をお送りします。この機会に、ぜひ検診を受けてください。

◆がん検診無料クーポン券の送付時期

平成24年5月中

◆送付対象者

平成24年4月20日時点で紀宝町に住民登録・外国人登録のある表①の年齢の方

◆無料クーポン券の有効期間

平成25年3月31日（日）まで

利用可能医療機関や申し込みについてなど詳しくは、保健センター（☎32－3700）までお問い合わせください。

表① 対象者【子宮頸がん・乳がん（女性）、大腸がん（男性）】

	年齢	生年月日
子宮頸がん	20歳	平成 3年4月2日～平成 4年4月1日
	25歳	昭和61年4月2日～昭和62年4月1日
	30歳	昭和56年4月2日～昭和57年4月1日
	35歳	昭和51年4月2日～昭和52年4月1日
	40歳	昭和46年4月2日～昭和47年4月1日
乳がん・大腸がん	40歳	昭和46年4月2日～昭和47年4月1日
	45歳	昭和41年4月2日～昭和42年4月1日
	50歳	昭和36年4月2日～昭和37年4月1日
	55歳	昭和31年4月2日～昭和32年4月1日
	60歳	昭和26年4月2日～昭和27年4月1日

特別児童扶養手当および特別障害者手当等の手当額変更について

平成23年全国消費者物価指数（平成24年1月27日付）の実績値が対前年比で0.3%下落した影響を受け、平成24年度の特別児童扶養手当および特別障害者手当等の手当額は、「児童扶養手当法による児童扶養手当の額等の改定の特例に関する法律」（平成17年法律第9号）の規定により、下記のとおりとなります。

	平成23年度（月額）	平成24年度（月額）
特別児童扶養手当（1級）	50,550円	50,400円
特別児童扶養手当（2級）	33,670円	33,570円
特別障害者手当	26,340円	26,260円
障害児福祉手当	14,330円	14,280円
福祉手当（経過措置分）	14,330円	14,280円

▶詳しくは、役場福祉課（☎33－0339）までお問い合わせください。

子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン

3種類のワクチンの接種助成期間が延長！

子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの3種類のワクチン接種助成期間が、平成24年3月31日までとされていましたが、平成25年3月31日までの期間の実施（1年間の延長）となりました。

- 助成期間

● 接種対象者

● 接種医療機関
- 平成25年3月31日まで

紀宝町に住民登録または外国人登録がある方

紀宝町、御浜町、熊野市、新宮市内の指定医療機関
（上記市町以外の医療機関での接種の場合はご連絡ください。）

ワクチンの種類	対象年齢	標準的な接種パターン	接種回数
子宮頸がん予防ワクチン	中学1年生～高校1年生相当の女子（※1）	中学1年生の女子に3回接種	3回
ヒブ（インフルエンザ菌b型）ワクチン	生後2か月～5歳未満の乳幼児	生後2か月～7か月未満に開始し、初回接種3回、おおむね1年後に追加接種1回	接種開始年齢により1～4回（※2）
小児用肺炎球菌ワクチン	生後2か月～5歳未満の乳幼児	生後2か月～7か月未満に開始し、初回接種3回、60日以上後に追加接種1回	接種開始年齢により1～4回（※2）

- ※1 平成24年度対象者 平成8年4月2日～平成12年4月1日生まれ
（注）平成24年度に高校2年生相当になる人（平成7年4月2日～平成8年4月1日生まれ）については、平成23年度中（平成24年3月31日まで）に本事業により1回目または2回目の接種をした人のみ対象。
- ※2 接種開始年齢により接種回数が異なります。

県外（新宮市内を除く）で接種した場合は原則助成の対象になりません。また子宮頸がん予防ワクチンを高校2年生（上記助成対象者を除く）、高校3年生相当年齢中に接種した場合、接種料金の1/2を補助する制度（償還払い）もあります。希望の方は下記までお問い合わせください。

※この3ワクチンは任意予防接種です。目的・効果・副作用をよく理解した上で接種してください。

▶詳しくは、保健センター（☎32－3700）までお問い合わせください。

国民健康保険加入者で高額な外来診療を受ける方へ

医療費が高額となる場合、1か月の自己負担額は一定の金額（限度額）までとなります。

これまでは、入院される方については、「限度額適用認定証」または「限度額適用・標準負担額減額認定証」の提示により、窓口での自己負担額を限度額にとどめることができましたが、外来診療の場合では、限度額を超えた場合でも、いったんその額をお支払いいただき、申請に基づいて、限度額を超えた分が支給されていました。

平成24年4月1日からは、外来診療についても「限度額適用認定証」または「限度額適用・標準負担額減額認定証」を提示すれば、自己負担限度額を

超える分を窓口で支払う必要がなくなります。

70歳未満の方や、70歳以上の非課税世帯の方で、「限度額適用認定証」「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を希望する方は、保険証と印鑑を持参のうえ、役場福祉課へお申し出ください。

なお、平成24年3月31日以前に交付された「限度額適用認定証」または「限度額適用・標準負担額減額認定証」についても、記載されている有効期限までは使用することができます。

▶詳しくは、役場福祉課（☎33－0339）までお問い合わせください。



愛犬のために

狂犬病予防注射と 畜犬登録のお知らせ

犬を飼っている方は、その犬の登録と毎年1回の狂犬病予防注射を行うことが義務付けられています（狂犬病予防法）。

平成24年度の狂犬病予防注射および畜犬登録を左記のとおり実施しますので、この機会をご利用ください。また、犬の死亡、飼い主の住所・氏名が変わったなど登録事項が変更になったときは、届け出をお願いします。

1. 対象：生後91日以上の飼い犬
2. 料金（1頭あたり）

【登録済の犬】
3,200 円
（注射料 2,650 円＋注射済票 550 円）

【未登録の犬】
6,200 円
（注射料等 3,200 円＋登録料 3,000 円）

※なるべくおつりのいらないう、ご用意ください。

▶詳しくは、役場環境衛生課（☎33－0338）までお問い合わせください。

4月12日 木

時 間	場 所
8:50～9:05	桐原生活改善センター
9:15～9:25	阪松原生活改善センター
9:35～9:45	平尾井生産活動センター
9:55～10:10	大里多目的集会施設
10:20～10:30	旧JA高岡出張所前県道
10:45～11:00	鮎田構造改善センター
11:10～11:15	北桧杖多目的集会施設
11:30～11:35	旧JA浅里出張所前
13:10～13:35	役場分庁舎駐車場（成川）
13:45～14:20	飯盛多目的集会施設
14:30～15:00	神内構造改善センター前

4月13日 金

時 間	場 所
9:10～9:30	下り場駐車場
9:40～10:20	井田公民館
10:30～11:05	上野つどい館
11:15～11:35	長谷地区集会所
13:15～13:50	鵜殿駅自転車置場前
14:00～14:25	役場本庁舎裏

鑑札は必ず首輪につけよう
迷子になっても誰の犬なのかわかるようにするのも飼い主の義務です。犬の首輪に鑑札や注射済票、迷子札をつけておきましょう。

鳴き声・臭い・フン尿に注意
○散歩中のフン尿の後始末はきちんとしましょう。
○ムタ吠えなどの問題行動をしないように、しつけを行いましょう。
○犬小屋の周囲は清潔にしましょう。

飼い主のみなさんへ
マナーを守りましょう！
犬の登録と狂犬病予防注射
飼い主は、その犬の登録（生涯1回）と毎年の狂犬病予防注射をすることが義務づけられています。
毎年春に行っている集合注射か、近くの動物病院で受けてください。

放し飼いは禁止です
三重県動物の愛護及び管理に関する条例で放し飼いは禁止されています。散歩も綱などにつないで行ってください。

浄化槽

「きれいな川を
未来に残そう」
その⑤⑥

今月のテーマ

PFI手法で

町営浄化槽事業を推進中

町では、平成20年度から「紀宝町営浄化槽整備推進事業」による浄化槽整備を推進しています。同事業は、民間の資金力やノウハウなどを活用したPFI手法を取り入れて行っています。今月は、同事業の事業内容について再度、お伝えします。

高度処理型で

町の水環境を保全

同事業では、浄化槽の設置業務、設置した浄化槽および寄付採納の申し出のあった浄化槽の維持管理業務、使用料徴収業務について、同事業を実施するために設立された特別目的会社「紀宝町下水道サービス㈱」とPFI契約を結び、事業の推進にあたっています。

事業期間は、設置業務が、平成20年4月1日から平成30

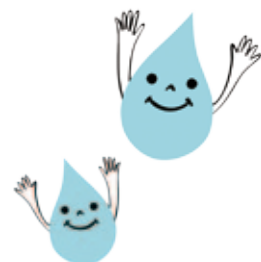
年3月31日までの10年間（維持管理期間は平成31年3月31日までの11年間）となっております。その間に1,500基の浄化槽を整備していくというものです。

また、設置している浄化槽は、高度処理型の合併処理浄化槽で、標準型の合併処理浄化槽の倍、単独処理浄化槽との比較では、約16倍の処理能力を有する、水環境にとっても優しい浄化槽を採用して、町の水環境の保全に努めています。

民間ならではの手法で 町営浄化槽事業をPR

同事業では、PFI手法を採用していることから、町民バスへの広告や看板広告、新聞への広告、折り込みチラシ、様々なキャンペーンなど、民間ならではのPR方法で事業の推進に努めています。

また、紀宝町下水道サービス㈱では、事業開始時に採用したウミガメのイラストをシンボルマークとしており、各種広告や看板、のぼりなどに使用したり、



同事業で管理する浄化槽のマンホールに貼るなどして、事業PRを行っています。

町営浄化槽のことなら 下水道サービスまで

同事業による浄化槽設置を希望される場合、浄化槽本体の設置工事費の約2割を負担いただくことになります。（表①参照）「浄化槽設置の見積りをして欲しいんだけど」「この場所に浄化槽は入るの？」「町営浄化槽に入れ替えたときの費用は？」など、町営浄化槽設置のご相談などは、紀宝町下水道サービス㈱（フリーダイヤル0120-620-690）までお問い合わせください。

表① 浄化槽設置にかかる分担金の額

浄化槽の種別	分担金の額
5人槽	165,500円
7人槽	208,340円
10人槽	276,800円
11人槽以上	環境衛生課までお問い合わせください

※分担金には、7条検査費用8,000円が含まれています。

▼詳しくは、役場環境衛生課（☎33-0338）までお問い合わせください。



「マンホールに貼られているウミガメのシンボルマーク」

「町民バスの車面に町民バスを貼る」



シリーズ ストップ地球温暖化

その④

家庭でできる温暖化対策

「できることから始めよう」



今月のテーマ 洗濯機

まとめ洗いが
効果的

洗濯物はまとめ洗いを

定格容量（洗濯・脱水容量：6kg）の4割を入れて洗う場合と、8割を入れて洗う場合との比較

年間削減効果

電気 5.88 kWh
水道 16.75 m³
CO2 2.1 kg

年間節約金額

電気 130 円
水道 3,820 円
CO2 3,950 円

【出典：財団法人省エネルギーセンター／家庭の省エネ大事典】

ワンポイントアドバイス

残り湯を再利用

風呂水ポンプなどを使ってお風呂の残り湯を再利用し、すぎは注水すぎより、ためすぎにすれば水が節約できます。

▼詳しくは、役場環境衛生課（☎33-0338）までお問い合わせください。

お住まいの近くで、役場業務が利用できます

移動支所をご利用ください

表① 4月の移動支所開設日程

	開設日	会 場	開設時間
月曜日	2日	桐原生活改善センター	9:00~10:15
	9日	平尾井高齢者生産活動センター	10:30~11:45
	16日	大里多目的集会施設	13:30~14:45
	23日	上野農事集会所	15:00~16:15
火曜日	3日	浅里生活改善センター	9:00~10:15
	10日	北松杖多目的集会施設	10:30~11:45
	17日	中村多目的集会施設	13:30~14:45
	24日	中村多目的集会施設	13:30~14:45
水曜日	4日	阪松原生活改善センター	9:00~10:15
	11日	永田青年クラブ	10:30~11:45
	18日	井田公民館	13:30~14:45
	25日	地下集会所	15:00~16:15
木曜日	5日	上地多目的集会施設	9:00~10:15
	12日	下地生活改善センター	10:30~11:45
	19日	茶屋地構造改善センター	13:30~14:45
	26日	下り場集落センター	15:00~16:15
金曜日	6日	高岡老人憩の家	9:00~10:15
	13日		
	20日 27日	鮎田構造改善センター	10:30~11:45

町内17か所で 開設しています

住民票の発行業務などを郵便局に委託するとともに、さらなる住民サービスの充実を図るため、町職員が町内17か所に出向いて、移動支所を開設しています。（表①移動支所開設日程をご覧ください。）
お住まいの近くで、役場業務が利用できますので、ぜひご利用ください。

移動支所の業務内容

住民票、印鑑証明、納税証明書などの申請受付事務（交付は後ほど、郵送か職員が直接お届けします）や、町税、国民健康保険税の収納事務、役場への各種届け出事務などを受け付けます。

▼詳しくは、役場税務住民課（☎33-0337）までお問い合わせください。

図書館だより

今月のテーマは
「子どもと読書」です♪

鵜殿図書館
岸司書



今月のおススメ



橋をかける
子供時代の読書の思い出
美智子 / 著 文藝春秋

皇后さまが国際児童図書評議会で子どもと読書について話されたこととは…。何度読んでもすばらしい本です！



昔話絵本を考える
松岡享子 / 著
日本エディタースクール出版部

子どもと昔話絵本について考える時に最適な1冊。語りとしての昔話と昔話絵本との違いがよくわかります。



お話について
松岡享子 / 著
東京子ども図書館

約30年前の講演をまとめたもの。子どもを取り巻く今日に至る様々な問題点が丁寧に描かれた、必読の書。



母の友
月刊誌
福音館書店

これは本ではなくて雑誌なのですが、子どもと本と子育てについて役立つ情報満載です！新学期を迎える春にぜひ。

◆スペシャルおはなし会のお知らせ◆

4月23日（月）は「子ども読書の日」です。これに関連して図書館では、28日（土）に「スペシャルおはなし会」を開催いたします。どうぞお楽しみに♪たくさんのご来場をお待ちしております。

また、4月23日（月）～5月12日（土）は「こどもの読書週間」です。期間中、恒例の読書クイズや、おすすめの絵本、児童書を展示しますので、どうぞご利用ください。

スペシャルおはなし会
4月28日（土）

0歳児：午前10時～10時半
1歳以上：午前11時～11時半
3歳以上（小学生含む）：午後1時半～2時半

◆鵜殿図書館（☎32-4646）
◆利用時間：午前9時30分～午後6時
◆休館日：毎週月曜日・祝日・毎月最終木曜日

紀宝警察署からのお知らせ

春の全国交通安全運動の実施

4月6日（金）～4月15日（日）
運動の基本

子どもと高齢者の交通事故防止

運動の重点

①自転車の安全利用の推進

特に、自転車安全利用五則の周知徹底
（①自転車は、車道が原則、歩道は例外、②車道は左側を通行、③歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行、④安全ルールを守る。⑤子どもはヘルメットを着用）

②全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

③飲酒運転の根絶

紀宝警察署（☎33-0110）

ごみは資源のコーナー

粗大ごみの戸別収集が始まります

4月から粗大ごみの戸別収集が始まります。地区によって収集日が決まっていますので、期限厳守のうえお申し込みください。



ワンポイント

事前に役場環境衛生課へ申し込めば、毎週水木金曜日に、リサイクルセンターへ直接持ち込めます！

役場環境衛生課（☎33-0338）

消費者トラブルに負けないぞ！！

●怪しい業者を見かけた時は、
情報提供をお願いします！

紀宝町地域包括支援センターでは、町民の皆様からの高齢者に関する消費トラブル情報の提供をお願いしています。

最近では、貴金属の買い取り業者がトイレを貸してほしいと訪問し、家へ上がりこもうとしたという情報や、訪問販売業者が留守宅の郵便箱を覗いていたという情報をいただきました。

これらの情報提供により、紀宝警察署生活安全課と連携して、パトロールや業者を注意するなど迅速な対策をとることができました。

今後も、消費者トラブルのない町にしていくなために、町民の皆様からの情報提供をお願いいたします。紀宝町地域包括支援センター（☎33-0175）までご連絡ください。

●「高齢者地域見守り隊」養成講座

町では、多くの被害が出ている悪質商法を未然に防ぐことを目的に、平成23年度「高齢者地域見守り隊」養成講座（7回コース）を開催しました。参加者は、紀宝警察署生活安全課から振り込め詐欺被害について説明を受けたり、NHK放送研修センターアナウンサーからコミュニケーション講座を受講したりしました。

今年度も、6月から養成講座を開催します。受講者を募集しますので、ぜひご参加ください。詳しくは、来月の広報きほう5月号をご覧ください。



講座の様子

◆三重県消費者生活センター

☎059-228-2212 【毎週月～金曜日】午前9時から午後4時まで

▶詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334）までお問い合わせください。

広報クイズ

抽選で特産品が当たります！

◆問題

- ①救急医療〇〇キット
- ②〇〇病予防注射と畜犬登録のお知らせ
- ③〇〇ごみの戸別収集が始まります
- ④若い世代に急増中！〇〇頸がん
- ⑤日本一大きいみかん 〇〇〇！

◆応募資格 紀宝町内に在住の方

◆応募方法 ハガキかメール（koho@town.kiho.lg.jp）で、クイズの答え5問分（○の中に入る数字や文字）と、住所、氏名、年齢、電話番号、町や「広報きほう」についてのひと言を書いて、役場企画調整課広報係（〒519-5701 紀宝町鵜殿324）まで応募してください。正解者の中から、抽選で5名の方に、右写真の「町の特産品」をお贈りします。

◆締め切り

4月13日（金）必着
※当選者は、来月号のこのコーナーで。

■3月号の正解

①経験 ②2 ③ヘリ ④疑え ⑤食品

■3月号当選者

（応募総数21通・正解者21人 賞品は「マイヤーレモン塩ボン酢2本・マイヤーレモンキャンディ2袋のセット」）
前地絵美さん（井田）、おかはなふみこさん（成川）、大平勝利さん（成川）、くばまさよさん（鵜殿）、久保正代さん（鵜殿）、いわぐちとしおさん（鵜殿）、岩口利夫さん（鵜殿）

▶詳しくは、役場企画調整課広報係（☎33-0334）まで。



4月号の当選者へは
紀宝の漬物セット
※写真はイメージです



koho@town.kiho.lg.jp

今月のお料理

シャキシャキ歯ごたえが魅力♪ 「豆苗のんにく醤油和え」 とうみょう

今回は、野菜の値段が高いときの救世主「豆苗」を使った料理のご紹介です。あまり聞き慣れない野菜ですが、エンドウ豆を発芽させて伸ばしたもので、緑黄色野菜です。豆苗は、豆付きなら根の少し上を切り、水につけておけば2度目を収穫することが可能な野菜です。ビタミンAやビタミンCが多く含まれているため、皮膚や粘膜を守ったり、免疫強化に役立ちます。また、油を少し足して調理をすると、ビタミンAの吸収がよくなりますよ。

【材料（4人分）】

豆苗	1袋
もやし	1袋
しょうゆ	小さじ2
にんにく	小1/2かけ
ごま油	小さじ1
鷹の爪	少々

家計を助ける優秀野菜♪

エネルギー（1人分）：約24kcal
塩分：約0.4g

【作り方】

- ①豆苗、もやしは沸騰したお湯でゆでる。豆苗はサッとでOK。ザルにあげて水気をしぼっておく。
- ②にんにくはみじん切りにする。
- ③ボウルに①、②、しょうゆ、ゴマ油を加えて混ぜ合わせたら、器に盛り、鷹の爪を散らす。出来上がり。



管理栄養士
寺澤博子

今月のテーマ

若い世代に急増中！子宮頸がん

子宮頸がんは子宮の入り口付近、「子宮頸部」にできる女性特有のがんで、近年20～30歳代の若い世代での発生率が急増しています。

子宮頸がんは、命はもちろんのこと、妊娠や出産の可能性まで奪ってしまう、生活や人生に大きな影響を及ぼす病気です。しかし、原因が解明されている数少ないがんの一つで、定期的に健診を受けることでがんを予防することも可能です。

◆ 子宮頸がんの原因はウイルス

子宮頸がんの原因は、99%以上がヒト・パピローマウイルス（HPV）の感染が関連していることが分かっています。HPVは性交経験があれば誰にでも感染し得る、ごくありふれたウイルスで、女性の約8割が50歳までに感染を経験すると言われています。

感染しても、通常は、免疫力によりウイルスを追いつぶすため、1～2年で自然に消滅することが多いのですが、ウイルスを排除できず、感染が長期化すると、細胞が異常な細胞に変化し、さらにがんへと進行します。異常な細胞に変化している状態を、「異形成」または「前がん病変」と呼び、明らかな浸潤がん（いんらんがん）に進行するまでには、数年～10年以上かかると考えられています。

◆ 健診でがん化を防げます

定期的な健診によって、「異形成」を発見することができ、がんに進行する前に治療が可能です。また、がんに移行していても、早期であれば、ほぼ100%治癒し、妊娠・出産のために子宮を残しておくことも可能です。子宮頸がんは、進行してくると不正出血やおりものの増加などの症状が出てきますが、異形成から早期がんまでは全く自覚症状がありません。それだけに、定期的に検診を受けて早期に発見し、治療につなげることが大切です。

◆ 定期的ながん検診を！

紀宝町では、平成24年度も各種がん検診を実施します。子宮頸がんは、バスでの集団検診のほか、医療機関での個別検診も実施しています。（詳細については、13ページと今月号に折り込まれているチラシをご参照ください）

20歳を過ぎたら1～2年に1度は子宮頸がん検診を受けるようにしましょう。

今月は
峪中千尋保健師



4月の健康カレンダー

子どもとお母さん（会場 紀宝町保健センター）

日	内容と開催時間
24日	すくすく育児相談（午前9時30分～11時30分） ※要予約：ご希望の方は、保健センター（☎32-3700）まで

4月の休日当番医

日	病院名	内科・外科
1日	米良クリニック	☎(21)7878 外科
8日	佐野内科	☎(28)3266 内科
15日	熊野路クリニック	☎(21)2110 内科
22日	谷地内科	☎(23)3088 内科
29日	味八木胃腸科	☎(21)5610 外科
30日	笹屋内科	☎(21)2917 外科
日・祝	紀南医師会 応急診療所	☎0597(88)1001 内科

※ 変更する場合がありますので、確認のうえ受診してください。
※ 診療科目が異なる場合は、三重県救急医療情報センターコールセンター（☎0597-89-1199）にご相談ください。

元気塾（介護予防事業）

日	会場と開催時間
18日	鶴殿地域交流センター（午前9時30分～11時） ※ 要予約：詳しくは、紀宝町地域包括支援センター（☎33-0175）まで

元気塾とは？

65歳以上の方を対象に、2か月に1回のペースで、健康づくりの教室を開催いたします。

◆内容

- ・ストレッチやソフトボールを使った健康運動
- ・調理実習・風船バレー・音楽療法・お口の健康

◆定員 20人

- ▶申し込みなど詳しくは、紀宝町地域包括支援センター（☎33-0175）までお問い合わせください。

今月のテーマ

赤ちゃんの前歯が生え始めたら

軟食・飽食の時代といわれている現代、“噛まない子”“噛めない子”が問題になってきています。「歯で噛む」といっても、前歯と臼歯（奥歯）ではその役割が違ってきます。前歯は、自分の口に合ったひと口量をかじり取ることで、臼歯は口の中に入ってきた食べ物をすりつぶすことです。

前歯はとても敏感で、ここがかじりとした感覚が、歯根膜（歯の根の周りに存在）というセンサーを介して脳に伝わり、その後の噛む動きにつな

がっていきます。子どもはもちろん、離乳食時期の赤ちゃんから、将来、きちんと噛める子どもに育つメニューを工夫しましょう。

乳歯の上下前歯が生えてきたら、唇や前歯で食べ物をはさんでかじり取ることができるよう、お子さんの食べ物をすべて「ひと口サイズ」にせずに、大きめの食べ物をメニューの中に入れるようにしましょう。はじめのうちは、お母さんが手を添えて練習させてあげてください。

歯を大切に
しようね♪





絵本作家 飯野和好さんが朗読絵本ライブ

鵜殿図書館は3月11日、まなびの郷で絵本作家の飯野和好さんを迎え、「飯野和好 朗読絵本ライブ おっと、痛快絵本の読み語りの旅でい！熊野紀宝の宿」を開催しました。

飯野さんは、多数の絵本を著作しており、中でも「ねぎぼうず」シリーズはたいへん人気です。飯野さんは、自作のキャラクターにちなんだ姿で登場し、「ねぎぼうずのあさたろう その8 にんにくにきはしる！」や「うらしまたろう」などの作品を読み語りし、親子連れなど約200人を楽しませました。



ふるさと応援コンサートを開催

台風被害を受けた紀宝町を音楽で応援しようと、伊勢市の市民楽団「伊勢管弦楽団」が2月19日、相野谷中学校体育館で「がんばれ紀宝町！ふるさと応援コンサート」を開催しました。

被災者に生演奏を聴いてもらおうと、団員約60人が訪問。パッハやチャイコフスキーなどといったクラシックの名曲やアニメ映画の主題歌など10曲を演奏し、来場者に癒しと安らぎを届けました。

また、同楽団は、昨年11月に名古屋市で開かれた音楽祭で募った義援金を西田町長に手渡しました。



紀宝を元気に！「復興応援まつり」を開催♪

第6回社協つれもてまつり「復興応援まつり」が2月26日、福祉センターで開催されました。今回は、台風12号災害からの復興を目指し、「絆の力、紀宝を元気に！」をテーマに行い、町内外から約1200人が訪れ、復興に向けて思いを新たにしました。

オカリナ演奏とうどの幼稚園児による踊りで開幕し、会場では、豚汁やめはり寿司などの「食のコーナー」をはじめ、防災、人権啓発などのブースがあり、長蛇の列ができていました。また、鈴鹿市のボランティアグループのみなさんによる餅のふるまいや、東紀州復興支援Tシャツの販売なども行われました。

施設内では、スリランカ出身のにしゃんたさんによる、「いま私たちにできること」と題した防災講演会が行われました。にしゃんたさんは、大災害に見舞われた被災地での取材活動から得た情報をもとに、自然災害への備えを強く訴えました。



01. 大勢の人でにぎわいました。02. 防災講演を行ったにしゃんたさん。03. 支援の輪を広めようと、東紀州復興支援Tシャツの販売が行われました。04. 復興を応援する踊りを披露したうどの幼稚園児。05. ボランティアグループによる子どもの着付けも行われました。



うま 美し国駅伝で敢闘賞に輝く

早春の伊勢路を県内29市町の代表選手が駆け抜ける「第5回美し国三重市町対抗駅伝」が2月19日、津市の県庁前から伊勢市の県営総合競技場を結ぶ10区間、42.195kmのコースで行なわれました。

紀宝町チームは、第9区の高見澤安珠選手が区間3位（町の部）を記録する快走をみせるなど、全選手がタスキをつなごうと力強く駆け抜けた結果、2時間4分30秒でゴール。昨年より順位を2つ上げて、町の部で10位と過去最高の成績を収めました。前回大会より4分36秒タイムを短縮したことで、敢闘賞を受賞しました。

01. 第1走者の石垣茜音選手。（写真左側のゼッケン65番）02. 一生懸命タスキを繋ぎました。03. 1500 m タイムレースに参加した大畑憂河選手。04. 紀宝町を代表する駅伝ランナーたち。05. アンカーの松口祐二選手。



はらちあき 原千晶さんが「がん予防講演会」

町は2月26日、保健センターで、女優の原千晶さんを講師に迎え、がん予防講演会を開催しました。

原さんは、子宮頸がんと子宮体がんを発症し、摘出手術や抗がん剤治療を受けており、その経験から患者の会を組織しているほか、各地で講演をし、検診の啓発活動を行っています。

「がんは早期発見、早期治療が鉄則です。がん検診の輪が広がっていくことを願っています。」という原さんの切実な呼びかけに、参加者たちは真剣に耳を傾けていました。



ジャズで被災地に元気を♪

台風災害による復興支援チャリティコンサート「きぼう my Town Jass Live」が2月19日、まなびの郷で開催されました。

町内在住のジャズボーカリスト・津荷裕子さんが、ピアノ、ドラム、ギターとベースの演奏に合わせて、スタンダードナンバーなど12曲を披露。心地よいジャズサウンドで訪れた約400人の観客に元気や勇気を届けました。

会場には募金箱が設置され、集まった義援金は全額町へ寄付されました。

Kids No.74

はしゃぎっ子



やまぶろ しおん
山風呂 心温 くん (成川)

平成21年4月5生まれ
泰也さん&かつらさんの次男

野球と戦隊ものが大好きな心温です。将来の夢は野球選手で、ボールを投げる姿はまるでピッチャーのよう。でも上げる足が反対だよ(笑) おちゃめなところも心温らしいです。これからも色々なことにチャレンジし、いつも我が家に笑顔を与えてね♪…お母さんから



ちようだ りな
長田 莉奈 ちゃん (鵜殿)

平成21年4月8生まれ
孝さん&真由美さんの長女

最近、プリキュアとピンク色が大好きな莉奈です。妹とたまにおもちやの取り合いでケンカもするけど、妹思いの優しいお姉ちゃんです。これからも妹と一緒に、笑顔の絶えない、思いやりのある優しい子に育ってね♪…お母さんから

満3歳の誕生日を迎える子ども(平成21年6・7月生まれ)を募集しています。ご希望の方は、広報係(☎33-0334)までご連絡ください。申込期限は4月27日(金)まで。

Young No.74

若い衆登場



◆**趣味は?**
スノーボードが好きで、毎年行っています。あと、映画も好きで、最近の映画では、「GANTZ (ガンツ)」が面白かったです♪

◆**旅に行くとしたら**
北海道へ行ってみたいです。食べ物も美味しそうだし、スノーボードもできるので!

◆**理想のタイプは?**
明るくて、笑顔がかわいい人
がいいですね。芸能人というと、仲里依紗さんが好みます。

◆**最近、嬉しかったこと**
犬が好きで、ダックスフンドを2匹飼っているのですが、僕が帰ってくるとドアの前で待っていてくれるんです。あれは嬉しいですね。

◆**夢は?**
パソコンが好きなので、将来はIT関連の職に就いて、ばりばりとがんばりたいです。

◆**町の好きなところ**
海・山・川がきれいなところが好きです。このまま、自然豊かな紀宝町でいてほしいです。

愛犬がすごくかわいいです!

みなみ
ともき
南 友樹 さん (井田・22歳)



Penrelay No.74

ペンリレー



幼児のテレビ番組のなかに『私はたわし』という言葉が出てくる。
一歳半を過ぎた孫は『たわし』が言えなくて、『私わたし』と繰り返して叫んでいる。なるほど「私は私」なのだ。私の人生は私しか生きられない。誰も代わりはできないのだ。

かつては、よく一人で山に登った。そんな折、非日常の中で自分を見つめたり問うたりしたもの。今は…、あるがままの自分である。
風来坊を自称する私は、目標に向かって一直線に進むことが出来ない。あれもちょっと、これもちょっとで、1つのことを

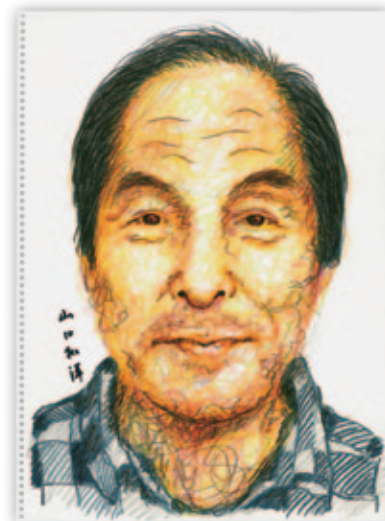
私はわたし くむしの世界く

山口 和洋 さん (成川)

PROFILE

やまぐち かずひろ さん

熊野のトンボと蝶を調べておよそ40年になるという山口さん。「この雄大で多様なすばらしい熊野の自然と、そこに住む私たちの生活とのバランスがとれたらいいなと思います。」と話していました。



今も、気まぐれに、近くの山野や川辺、池沼を訪ねる。長く続けていると思わぬことも起きる。昨年、相野谷川で捕らえたベニトンボは専門家によると本州初の捕獲だそう。本州最初の標本が紀宝町産である。何となく楽しくなる。

人は一人では決して生きていけない。多くの人に支えられて生きている。そのことは、昨年の台風12号豪雨被害の際にも身に沁みて感じさせられた。そんな思いを持ちながら、あるがままに生きる「私はわたし」を楽しんでいけたらと思っている。

5月号は阪松原の田中敏子さんです。山口さんからは、「謙虚で、ボランティア活動など何ごとにも意欲的に取り組まれる素敵なお方です。次号を楽しみにしています」

トンボは熊野地方で約70種類。どんなトンボが増えているのか・減っているのかをみると、川や池沼、湿地などの様子がよくわかる。種類ごとにすむ環境が違うからである。
そんな虫たちの生息状況から、懐の深い実に豊かな熊野の自然の姿が浮かんでくる。

長くやり続けることが苦手だ。従って何もものになっていない。そんな中で比較的長く続いていることは熊野地方のトンボや蝶の動向を記録してきたことである。ただ、私の関心は、虫そのものというよりも「虫を通して見た熊野の自然の在りよう」という色合いが濃い。
蝶を見れば植物の様子が分かる。蝶の幼虫が食べる植物は種類によって決まっているからだ。



4月号

町の人口 - population -

平成24年2月末現在（前月比）	
人口	12,011（-4）
男	5,662（-1）
女	6,349（-3）
世帯	5,428（±0）

主な電話番号 - telephone -

役 場 総 務 課	(33) 0333
役場企画調整課	(33) 0334
役場総務課（防災対策）	(33) 0335
役場産業建設課	(33) 0336
役 場 住 民 課	(33) 0337
役場環境衛生課	(33) 0338
役 場 福 祉 課	(33) 0339
役 場 出 納 室	(33) 0340
教 育 委 員 会	(33) 0341
議 会 事 務 局	(33) 0342
役場環境衛生課（水道）	(33) 0343
地域包括支援センター	(33) 0175
保 健 センター	(32) 3700
相 野 谷 診 療 所	(34) 0011
鵜 殿 図 書 館	(32) 4646
ま な び の 郷	(32) 0241
神内福祉センター	(32) 2023
鵜殿福祉センター	(32) 0957
宝 寿 園	(21) 0903
亀 楽 苑	(32) 1055
防災行政無線（フリーダイヤル）	0120-334-119
おかけ間違いのないように！	



特定不妊治療費助成事業について

紀宝町では、医療保険が適用されず、高額の治療費がかかる、特定不妊治療（対外受精または顕微授精）を受けられたご夫婦に対して治療費の助成を行っています。

①対象治療法

体外受精・顕微授精（採卵に至ったもの）※指定医療機関で行われた治療に限りです。

②助成内容

1組の夫婦に対し、1年度あたり1回、10万円を限度とし、通算して5年間助成します。

③助成対象者

次の全ての要件を満たす方が対象です。

・特定不妊治療以外の方法では、妊娠の見込みがないか、極めて少ないと、医師に診断された、法律上の夫婦であること

・夫婦双方または一方が紀宝町内に居住していること
・前年（1月から5月の申請については前々年）の夫婦合算所得が400万円未満であること

（平成24年度から、夫婦合算所得300万円未満↓400万円未満に改正されました。）
・三重県が行う「特定不妊治療費助成事業」とあわせて申請するもの。

④申請期間

治療が終了した日から起算して60日以内に申請してください。
▼詳しくは保健センター（☎

32-3700）までお問い合わせください。

★三重県が行う「特定不妊治療費助成事業」については、三重県のホームページをご覧ください。保健センターまでお問い合わせください。

まどぐち国民年金

国民年金の保険料は毎年度改定されますが、平成24年度は、前年度より40円引き下げられた月額14,980円となります。毎月の保険料は、日本年金機構から毎年4月の上旬に送られてくる1年分の納付書によって翌月の末日までに納めてください。なお、保険料は2年を過ぎると納められなくなりますのでご注意

スポーツ安全保険について

スポーツ安全保険は、スポーツ安全協会が契約者となり、加入手続きを行った5名以上

の社会教育関係団体の構成員を被保険者として、保険会社との間に、傷害保険、賠償責任保険、突然死葬祭費用保険を一括契約した補償制度です。

加入対象

スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動を行う社会教育団体

保険期間

4月1日～翌年3月31日（年度途中での加入可）

加入依頼書設置場所

紀宝町教育委員会

▼詳しくは、（財）スポーツ安全協会三重県支部（☎059-372-8100）までお問い合わせください。

ごみ収集カレンダーをご活用ください

町では、ごみの収集日程を掲載した『ごみ収集カレンダー』を今年度も発行しました。今月号の広報さほうと一緒に各世帯に配布しますので、ご活用ください。

なお、「保存版 資源とごみの正しい分け方」を、ごみ収集カレンダーに折り込んでいます。今後、分別方法に変更がない限り、新しく配布することはありませんので、大切に

に保管してください。

▼詳しくは、役場環境衛生課（☎33-0338）までお問い合わせください。



ふれあい農園の入園者を募集

グリーンツーリズム推進委員会は、ふれあい農園の入園者を募集します。募集内容は次のとおりです。

場所・募集区画

紀宝町井田字越谷（上野ハセ池となり）
10区画（1区画約30㎡）

利用料金

1,000円／月

申込期限

空きがあれば随時受付（区画が埋まり次第、募集は締め切らせていただきます。）

申込先

印鑑を持参の上、産業建設課までお越しください。

▼詳しくは、役場産業建設課（☎33-0336）までお問い合わせください。

ご存知ですか？ 就学援助費制度

就学援助費制度とは、経済的な理由により就学が困難と認められる児童・生徒について、学用品や学校給食費、修学旅行費などの一部を援助する制度です。

小・中学校に在学中、または今春入学する児童・生徒のご家庭で、受給を希望される方は、町教育委員会まで申請してください。

▼認定基準や申請方法など詳しくは、町教育委員会学校教育係（役場内☎33-0341）までお問い合わせください。

日曜・無料遺言 公証法律相談

新宮公証役場では、日曜・無料公証法律相談を実施しています。ぜひご利用ください。

日時 4月15日(日)、5月20日(日)、両日ともに午前9時から午後5時まで

場所 新宮公証役場

（新宮市緑ヶ丘2-1-31）カ

マツカビル3階）

相談員 公証人 中村司（和歌山地方方法務局所属）

相談内容 遺言、相続、離婚、子の養育費、年金分割、慰謝料、財産分与、家族の扶養、任意後見（高齢者等の財産管理）、土地建物の賃貸借、金銭の貸借、売買、贈与、債務弁済、保証、その他各種の契約、尊厳死宣言、会社定款など。

その他 電話で予約してください。また平日（月曜～金曜）の相談もご利用ください。相談はすべて無料（秘密厳守）です。

▼詳しくは、新宮公証役場（☎21-2344）までお問い合わせください。

熊野水軍子供太鼓 鼓新时期生募集

熊野水軍子供太鼓は、新期生を募集します。みんなで楽しく太鼓を演奏してみませんか。

募集対象 町内の小学4～6年生

練習日 毎週金曜日、午後6時30分～9時

▼詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334）までお問い合わせください。

広報さほうに広告を掲載しませんか

町では、「広報さほう」のこの位置に有料広告を掲載しています。みなさんの会社やお店の宣伝にご利用ください。詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334）までお問い合わせください。

広報さほう	
大きさ	1 枠 縦 45 [㍍] ×横 86 [㍍]
掲載料	1 枠につき月額で、 町内事業者 7,000 円 町外事業者 10,000 円

紀宝町下水道サービス株式会社



浄化槽のご相談は
フリーダイヤル
0120-620-690

紀宝町鵜殿1375番地1
TEL：0735-33-0360（代）
FAX：0735-33-0365
HP：http://www.pfi-kiho.jp/

◆庭の剪定、消毒、草刈り ◆設計、施工
◆石積み、ブロック積など外構工事一式

にわや たなだ

庭屋 棚田

〒519-5712 紀宝町神内2065
TEL：0735-30-4006
携帯：090-7911-9274

有料広告



紀宝の
珍百景
認定

Unusual Scenery

紀宝の**珍**百景

見つけた! その27

日本一大きいみかん

ばんぺいゆ
晩白柚

今回の珍百景は、日本一大きいみかん「晩白柚」をご紹介します。

晩白柚は、ミカン科の果実の一種で、ザボンの1品種となります。名前は、晩（晩生）・白（果実が白っぽい）・柚（中国語で丸い柑橘という意味）に由来します。産地としては熊本県八代市が有名ですが、紀宝町でも栽培されています。

晩白柚の特徴はなんといってもその大きさで、日本で1番大きいみかんといわれています。写真の晩白柚は直径が約20センチ、重さは約2キログラムもあります。大きいものになると直径25センチ、重さ4キログラムを超えるものも珍しくないのだとか。

味の特徴としては、春らしいみかんで、爽やかな甘さです。また、果肉はかなりしまっていて、食感にポリウムがあり、シャキシャキとしています。

また、晩白柚の皮はとても厚く、約2センチほどもあります。石本果樹園の石本慶紀さんにお話を伺うと、「晩白柚は、皮の白い部分にこそ栄養素が多く含まれているんですよ。マーマレードやジャムにするといいですね。」と話されていました。

2月下旬から3月にかけて、紀宝町内でも販売されるということなので、来年は、大きさと一緒に、その味も楽しませてはいかがでしょうか。



晩白柚の木には、大きいにも関わらずたくさんの実がなっていました。



晩白柚の大きさは、一般的なサイズのセミノーブルと比べてもその差は歴然。また、晩白柚の皮の厚さも規格外で、約2センチほどあります。

ひょうたんや

比較する対象物

今月の珍百景では、日本一大きいみかんの「晩白柚」を紹介させていただきましたが、みなさんはご存知でしたか？僕は、存在は知っていましたが、まさか紀宝町でも栽培されているとは知りませんでした。この「ひょうたん」では、その取材中の裏話を少ししたいと思います。

珍百景に掲載するにあたり、この大きさをどう表現したらいいものか悩みました。広角レンズで撮影してみたり、標準サイズのみかと比べて撮影してみたりという試みでしたが、イマイチその大きさが伝わってきません。その結果、やはり人と一緒に撮ることがベストだと思い、井田保育所に行くことにしました。井田保育所へ行った理由は、小さな園児と一緒に撮ることで晩白柚の大きさが際立つと考えたことと、地元で採れる大きなみかんを園児たちに実際に手に取って、その大きさを肌で感じてもらいたかったからです。保育所に入るとすぐに、園児たちがざわめき始め、「それ何？何？」と興味津々で聞いてきました。「何だと思う？」と質問してみたところ、誰も答えられません。なので、「手に取って匂いを嗅いでみて」と渡したところ、「みかんだあ〜」とものすごくいい反応してくれました。みんなに平等にと、「触りたい人は並んでね〜」と伝え、ひとりずつ手に持って撮影をさせてもらっていると、うわさがうわさを呼び、後ろを振り向けば長蛇の列が。みんな見たこともない大きなみかんに、「重い」「いい匂い」などと言いつつ、嬉しそうに楽しんでくれているので、本当によかったなと思いました。

園児と一緒に撮影をしたことは正解だったと思います。晩白柚が園児たちの顔よりも大きいので、その大きさがひと目で表現することができたからです。もしもこの対象物が僕だったらどうでしょう。晩白柚が温州みかんのように見えてしまうかもしれません。写真1枚で、ものを表現するという難しさを改めて感じました。



日本一
大みかん

(毎月悩んでばかりの広報力メラマン 竹鼻 康)

